

【研究課題名】 962 吸入麻酔薬と静脈麻酔薬による全身麻酔における術後悪心嘔吐発生頻度の比較

【実施責任者】 集中治療部 准教授 井上 聡己

【実施分担者】 中央手術部 学内講師 田中 優
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦

【研究の意義】

全身麻酔後の悪心嘔吐は入院時におけるQOL低下の一因である。全身麻酔薬の方法により術後悪心嘔吐(PONV)の発生頻度に違いがあるのか調査し評価することは重要である。

【研究の目的】

麻酔科術後外来での全身麻酔後のPONVの発生状況を調査し吸入麻酔薬と静脈麻酔薬により差があるのか調査すること

【研究の方法】

麻酔科外来ではPONVの有無や持続期間などを問診しておりこの結果をファイルメーカーに入力しExcelに統合し管理している。また、当科では麻酔台帳に各症例を登録しており、患者背景、術式、診断、麻酔方法、麻酔手術時間、合併症、体位、麻酔管理者などの記録を残しており、これもファイルメーカーに入力しExcelに統合し管理している。この2つのデータベースを患者IDにより統合し合わせて利用する。これらの麻酔科管理症例から全身麻酔管理された症例を抽出し、抽出されたデータからプロペンシティスコア(PS)を算出し、吸入麻酔薬管理と静脈麻酔薬管理をPSで1:1にマッチングさせてPONV発生頻度、残存時間を比較する。マッチングされる症例は各群およそ2500症例である。PSは独立変数として患者背景、術式、診断、麻酔手術時間、合併症、体位などの背景因子、従属変数として使用麻酔薬(吸入麻酔薬か静脈麻酔薬)とする多変量解析から算出する。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人情報に関しては連結可能匿名化し利用するがデータベースを患者IDにより統合した時点で患者IDは消去するため保護される。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 井上 聡己

〒634-8522

奈良県橿原市四条町842

TEL 0744-22-3051